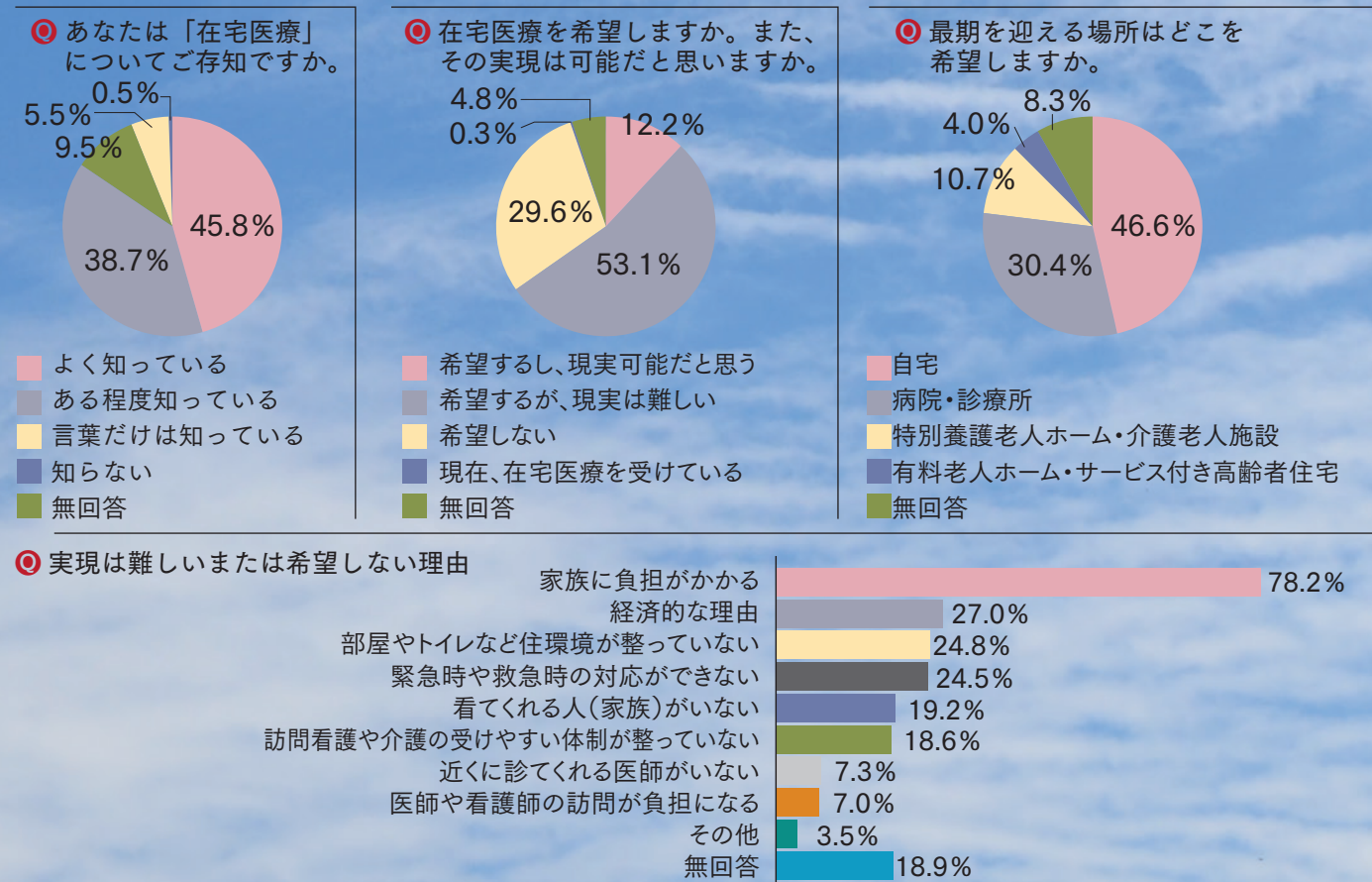


【結城市在宅医療に関するアンケート調査】（対象者4,000人、回答者数1,660人、回収率41.5％）



誰でも、いつでも、命に関わる大きな病気やケガをする可能性があります。

誰にでも訪れる人生の終末期をどこで迎えるのか。医療と介護を受けながら住み慣れたわが家（地域）で暮らす「在宅医療」も一つの選択肢です。

在宅医療・介護

在宅医療・介護とは、医療機関や介護施設への通院・通所が困難となったり、慢性の疾患で長期間、医療や介護を受けている患者さんが、入院や施設への入所をせずに自宅で医療や介護サービスを受けることをいいます。

在宅医療を希望する人は約6割

現在、市内では、約12％の人が自宅で亡くなっています。市では、令和元年12月に、市民の方4,000人を対象にアンケート調査を行いました。在宅医療について尋ねたところ、「在宅医療を希望する」と回答した人は、65・3％でした。

しかし、在宅医療を希望すると回答した人のうち、約8割の方は「実現は難しい」と回答しています。

在宅医療では、さまざまな専門職が連携し、自宅を訪問して本人や家族をサポートします。医療や介護の専門職のサポートのもと、在宅医療が可能なケースは多くあります。まずは、ご相談ください。

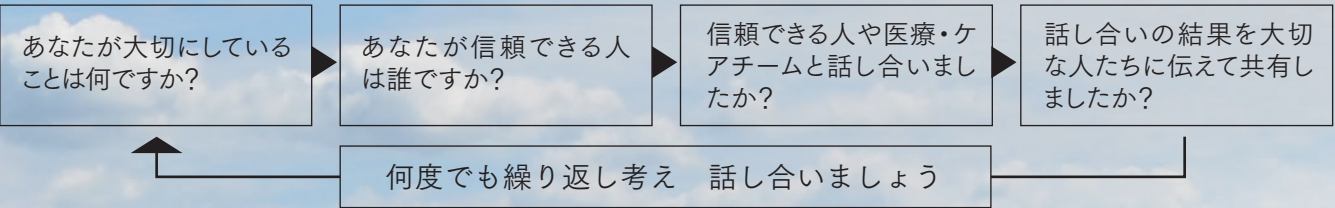
あなたはどこで「最期 のとき」を迎えますか
～在宅医療 という選択～

もしものときのために「人生会議」

～自らが望む、人生の最終段階の医療・ケアについて話し合ってみませんか～

人生の最期について考えることは、そのときまで、自分らしい人生をどのように生きるのかを考えることと同じです。いつか訪れる「そのとき」に自分や家族が慌てないように考えておくことが大切です。

話し合いの進め方(例)



講演会や出前講座をご利用ください

市では、在宅医療・介護について広く知っていたいただくため、講演会や出前講座などを開催しています。

【内容例】

- ・市内の医療・介護従事者がそれぞれの仕事内容についての話をします。
- ・入院から自宅生活に戻るまでの具体的な事例をもとに、相談先や関わる専門職について話を聞くことができます。



＜在宅医療に関する相談窓口＞ 在宅医療や介護について、お気軽にご相談ください。

- 市地域包括支援センター ☎34-0324 結城市役所長寿福祉課内(窓口⑧)
- 市地域包括支援センター南分室 ☎54-6477 青嵐荘特別養護老人ホーム1階